

四国中央市港湾上屋整備事業経営戦略

団 体 名 : 四国中央市

事 業 名 : 港湾上屋事業

策 定 日 : 令和 3 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 3 年度 ~ 令和 17 年度

※複数の港湾を有する事業にあつては、港湾ごとの状況が分かるよう記載すること。

1. 事業概要

(1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	法非適用	事 業 開 始 年 月 日	昭和35年度
職 員 数	5 人	港 湾 区 分 (重 要 港 湾 等)	重要港湾
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	実施していません	
	イ 指定管理者制度	実施していません	
	ウ PPP・PFI	実施していません	

(2) 使用料体系

※施設区分の中で複数の使用料体系がある場合には、それぞれの内容を分けて記載すること。

地区名	名称	金額(1㎡1日につき)		備考
		一時使用	長期使用	
川之江地区	大江1号上屋	25.43	23.43	
	大江2号上屋	25.43	23.43	
	大江3号上屋	25.43	23.43	
	大江4号上屋	25.43	23.43	
	大江5号上屋	25.43	23.43	
	大江6号上屋	25.43	23.43	
三島地区	紙屋1号上屋	8.60	6.60	
	紙屋2号上屋	10.80	8.80	
	紙屋4号上屋	11.90	9.90	
	紙屋5号上屋(港湾庁舎附属)	19.48	17.48	
	中央6号上屋	5.30	3.30	
	村松1号上屋	24.33	22.33	
	村松2号上屋	24.33	22.33	
	村松3号上屋	25.43	23.43	
	村松4号上屋	25.43	23.43	
	村松5号上屋	25.43	23.43	
寒川地区	金子1号上屋	26.01	24.01	
	寒川1号上屋	24.61	22.61	
	寒川2号上屋	24.61	22.61	

※各項目の単位を明記すること

(3) 現在の経営状況

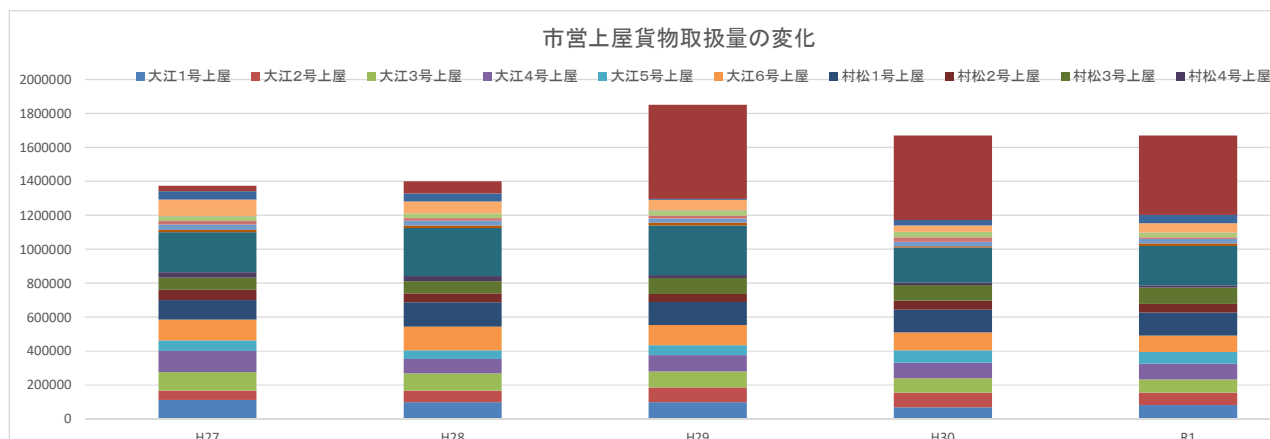
年間取扱貨物量 ※過去3年度分を記載	H29 1,850,006トン	H30 1,669,376トン	R1 1,669,797トン
年間船舶乗降旅客数 ※過去3年度分を記載	H 人	H 人	H 人
年間使用料収入額 (税込み) ※過去3年度分を記載	H29 535,788千円	H30 431,531千円	R1 433,640千円
経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	H29 431%	H30 337%	R1 339%
経費回収率 ※過去3年度分を記載	H 431%	H 337%	H 339%
他会計補助金比率 ※過去3年度分を記載	H %	H %	H %
有形固定資産減価償却 率 ※過去3年度分を記載	H %	H %	H %
企業債残高対 料金収入比率 ※過去3年度分を記載	H %	H %	H %
<p>【上記の収益、資産等の状況等を踏まえた現在の経営状況の分析】 平成30年度に上屋使用料を改定(減額)し、使用料収入額は減となっているが安定した収益は確保しております。しかし、今後維持管理費が確実に増加していくことが予想されること。また地方債の償還が約20年続くことから経費削減に努めます。</p>			

2. 将来の事業環境

(1) 取扱貨物量等の見通し

※年間貨物取扱量、年間旅客乗降客数等の見通しについて、図表などを適宜用いながら、予測の方法(考え方)等も含め、分かりやすく記載すること。必要に応じて過去の推移についても記載すること。

取扱貨物量については、当市の基幹産業である製紙業が好調なため原材料や紙製品関連等の貨物が増加傾向にあります。今後も貨物量が大幅に減少することは考えられず、現在でも市内では製紙業関連の原材料や製品等を保管する倉庫が不足しており、これまでと同程度または現在より取扱量が増える見通しです。



(2) 使用料収入の見通し

※使用料収入の見通しについて、図表などを適宜用いながら、予測の方法(考え方)等も含め、分かりやすく記載すること。必要に応じて過去の推移についても記載すること。

使用料収入については、上屋使用料だけであるが安定した収入を確保しています。

上屋の更新(建替え)による使用料変更による増収が数棟見込まれるほかは、ほぼ現状の収入が続く見通しです。

(3) 施設の見通し

※施設・設備、管路の老朽化度合、水需要の予測を踏まえた施設の余剰能力の見通しなどについて、図表などを適宜用いながら分かりやすく記載すること。

施設については、建築後30年以上を経過したために老朽化対策が必要な上屋が多く、更新も視野にいれなければならない状況です。使用に際しての危険度が高いものから、優先順位の上として順次更新及び改修や修繕に着手していく方針の上屋維持管理計画を作成しております。1棟数千万円から約4億円と多額の費用が必要と思われることから、財政面も含め持続的な上屋運営ができるよう検討、計画致します。

(4) 組織の見通し

※定員の管理計画等を踏まえた将来の職員数の見通し等について、図表などを適宜用いながら、分かりやすく記載すること。

人員削減によって職員全体の数は減少しているが、港務所においては港湾施設の維持管理が多く、現在でも最小の人員で業務を行っていることから、現状の人員体制を維持するよう人事部局へ働きかけたいと思います。

3. 経営の基本方針

※将来の事業環境等を踏まえ、事業を継続する上での経営理念、基本方針等について記載すること。

地域の基幹産業である製紙業を支える上屋事業として、上屋維持管理計画に基づき長期的な視点に立った更新及び改修・修繕の計画と使用料改定などにより収支バランスを考慮し、上屋と港湾施設等の周辺施設との連携を図りながら健全な運営と維持管理を行います。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	上屋維持管理計画に基づき、重要度や優先順位を反映した改修・更新の実施
-----	------------------------------------

※計画期間内に実施する主な投資の内容(施設名、時期、金額など)について、図表なども適宜用いながら、分かりやすく記載すること。
※また、収支計画の策定に当たって反映した取組について、内容(対象施設、時期、金額など)を記載すること。

別添 年度別改修及び建替え計画一覧のとおり

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	収入は使用料のみのため、経費節減に努め、状況により起債を財源とします。
-----	-------------------------------------

※財源(使用料、企業債、繰入金、国庫補助等)の積算の考え方等について記載すること。
※また、収支計画の策定に当たって反映した財源確保の取組について、内容(対象施設、時期、金額など)を記載すること。

財源は収入としては使用料のみであるため、更新(建替え)など多額の費用が必要となる場合は起債を利用します。

更新した上屋については適正な使用料を設定します。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

※投資以外の経費(委託料、管理運営費、動力費、人件費など)の積算の考え方等について記載すること。
※また、収支計画の策定に当たって反映した経費削減の取組(包括的民間委託、指定管理者制度の導入等の取組も含む。)について、内容(対象施設、時期、金額など)を記載すること。

投資以外の経費については、使用料からの支出で充分賄えています。

経費削減の取組みについては、現在のところ民間等への委託の考えはありません。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	状況に応じて、民間ノウハウの活用を検討します。
投資の平準化	施設の老朽化等の状況に応じて優先順位を検討しながら計画的な投資をします。
その他の取組	

② 今後の財源についての考え方・検討状況

使用料	更新・新築の上屋については、使用者との協議や市場調査をして適正価格を設定していきます。
企業債	金利等を考慮しながら、更新・改修・修繕などの投資の規模に応じて検討します。
繰入金	現在は繰入金はありません。今後もない状態で経営していきたいと思います。
資産の有効活用等による収入増加の取組	市の産業を支える重要な港湾であるため、適切な維持管理と健全な運営を行います。
その他の取組	

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	必要性和金額を検討したうえで決めます。
管理運営費	経常経費の削減に努めます。
職員給与費	
その他の取組	

5. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	※進捗管理(モニタリング)や見直し(ローリング)等の経営戦略の事後検証、改定等に関する考え方について記載すること。 上屋維持管理計画及び経営戦略に基づき、毎年度進捗状況を管理します。 必要に応じて上屋の現況を調査し、更新・改修の優先順位の見直します。 工事費の変更に伴う事業費の推移を考慮しながら、更新・改修工事の実施年度の検討を行います。
---------------------	---

投資・財政計画
(収支計画)

(単位:千円, %)

区 分		年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	
		(決算)	(決算)	本年度																	
収 益 的 収 入	1 総 収 益 (A)	431,771	433,645	434,358	437,497	437,497	410,698	411,823	426,728	426,728	451,863	461,277	471,119	493,834	493,834	495,187	493,834	493,834	493,834	493,834	
	(1) 営 業 収 益 (B)	431,531	433,640	434,357	437,487	437,487	410,688	411,813	426,718	426,718	451,853	461,267	471,109	493,824	493,824	495,177	493,824	493,824	493,824	493,824	
	ア 料 金 収 入	431,531	433,640	434,357	437,487	437,487	410,688	411,813	426,718	426,718	451,853	461,267	471,109	493,824	493,824	495,177	493,824	493,824	493,824	493,824	
	イ 受 託 工 事 収 益 (C)																				
	ウ そ の 他																				
	(2) 営 業 外 収 益	240	5	1	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
	ア 他 会 計 繰 入 金																				
	イ そ の 他	240	5	1	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
	2 総 費 用 (D)	117,040	103,760	99,853	93,075	112,461	108,619	93,572	96,021	99,169	103,176	116,794	112,267	108,415	137,779	137,085	136,283	129,251	134,943		
	(1) 営 業 費 用	84,732	73,350	79,510	79,521	79,521	79,521	79,521	79,521	79,521	79,521	79,521	79,521	79,521	79,521	79,521	79,521	79,521	79,521	79,521	
	ア 職 員 給 与 費	48,828	39,162	43,006	46,270	46,270	46,270	46,270	46,270	46,270	46,270	46,270	46,270	46,270	46,270	46,270	46,270	46,270	46,270	46,270	
	うち 退 職 手 当																				
	イ そ の 他	35,904	34,188	36,504	33,251	33,251	33,251	33,251	33,251	33,251	33,251	33,251	33,251	33,251	33,251	33,251	33,251	33,251	33,251	33,251	
	(2) 営 業 外 費 用	32,308	30,410	20,343	13,554	32,940	29,098	14,051	16,500	19,648	23,655	37,273	32,746	28,894	58,258	57,564	56,762	49,730	55,422		
	ア 支 払 利 息	2,689	2,594	2,467	3,148	4,176	6,820	11,796	16,493	19,639	21,487	23,759	26,591	26,412	25,901	25,214	25,029	24,133	22,341		
うち 一 時 借 入 金 利 息																					
うち 資 本 費 平 準 化 債 分																					
イ そ の 他	29,619	27,816	17,876	10,406	28,764	22,278	2,255	7	9	2,168	13,514	6,155	2,482	32,357	32,350	31,733	25,597	33,081			
3 収 支 差 引 (A)-(D) (E)	314,731	329,885	334,505	344,422	325,036	302,079	318,251	330,707	327,559	348,687	344,483	358,852	385,419	356,055	358,102	357,551	364,583	358,891			
資 本 的 収 入	1 資 本 的 収 入 (F)			174,700	120,296	289,850	528,627	489,896	336,831	228,932	311,212	392,040	86,130	86,130	86,992	160,435	86,790				
	(1) 地 方 債			174,700	120,296	289,850	528,627	489,896	336,831	228,932	311,212	392,040	86,130	86,130	86,992	160,435	86,790				
	うち 資 本 費 平 準 化 債																				
	(2) 他 会 計 補 助 金																				
	(3) 他 会 計 借 入 金																				
	(4) 固 定 資 産 売 却 代 金																				
	(5) 国 (都 道 府 県) 補 助 金																				
	(6) 工 事 負 担 金																				
	(7) そ の 他																				
	2 資 本 的 支 出 (G)	318,318	255,785	525,366	299,294	410,817	594,404	849,337	822,032	664,174	573,613	661,275	750,780	468,479	436,767	457,685	530,240	453,740	361,376		
	(1) 建 設 改 良 費	7,176	81,672	348,570	87,913	159,281	352,712	587,617	533,579	369,724	270,054	360,416	410,653	104,743	104,822	112,966	179,114	96,790	10,000		
	うち 職 員 給 与 費																				
	(2) 地 方 債 償 還 金 (H)	11,142	24,113	26,796	31,381	31,536	31,692	41,720	48,453	64,450	93,559	120,859	140,127	153,736	171,945	194,719	201,126	206,950	201,376		
	うち 資 本 費 平 準 化 債 償 還 金																				
	(3) 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金																				
(4) 他 会 計 へ の 繰 出 金	300,000	150,000	150,000	180,000	220,000	210,000	220,000	240,000	230,000	210,000	180,000	200,000	210,000	160,000	150,000	150,000	150,000	150,000			
(5) そ の 他																					
3 収 支 差 引 (F)-(G) (I)	△ 318,318	△ 255,785	△ 350,666	△ 299,294	△ 290,521	△ 304,554	△ 320,710	△ 332,136	△ 327,343	△ 344,681	△ 350,063	△ 358,740	△ 382,349	△ 350,637	△ 370,693	△ 369,805	△ 366,950	△ 361,376			

年度別改修及び建替え計画一覧

(単位：千円)

施工年度	施工上屋	改修範囲	概算工事費	概算工事費計	設計料 (工事費の10%を計上)
令和4年度	大江3号	部分改修	120,296	120,296	28,985
令和5年度	大江4号	全面改修	98,164	289,850	52,862
	村松1号	解体	191,686		
令和6年度	大江2号	全面改修	87,824	528,627	48,989
	村松1号	建替	440,803		
令和7年度	大江5号	全面改修	72,699	489,896	33,683
	村松2号	解体	417,197		
令和8年度	村松2号	建替	336,831	336,831	22,893
令和9年度	紙屋1号	解体	64,988	228,932	31,121
	紙屋1号	建替	163,944		
令和10年度	紙屋2号	解体	89,045	311,212	39,204
	紙屋2号	建替	222,167		
令和11年度	紙屋4号	解体	112,805	392,040	8,613
	紙屋4号	建替	279,235		
令和12年度	村松3号	腰壁より上部 を全面改修	86,130	86,130	8,613
令和13年度	村松4号	全面改修	86,130	86,130	8,692
令和14年度	寒川1号	全面改修	86,922	86,922	16,043
令和15年度	村松5号	腰壁より上部 を全面改修	160,435	160,435	8,697
令和16年度	寒川2号	全面改修	86,970	86,970	